

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ★家庭学習と読書推進のポイント教えます★

☆☆☆ このメルマガの内容とは？ ☆☆☆

このメールマガジンは、教育振興運動全県共通課題（「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」）の推進にあたり、実践事例の紹介や意見交流を行うために、各実践区事務局、県内小中学校、市町村教育委員会、県内指導主事・社会教育主事、そのほか関係者の方々に送信しているものです。

< 目 次 >

- 1 【事例紹介 5】 「山根小学校実践区（九戸村）」 《家庭学習》
 - 2 【家庭学習】 「学習の習慣化のために」
 - 3 【読書推進】 レッツ！読み聞かせ
～読み聞かせ方 4「良くない持ち方・めくり方編」～
 - 4 【教振は今】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 5 【みんなの声】 ペっこ言い隊
 - 6 【編集後記】 あつしのひとりごと
-

- 1 【事例紹介 5】 「山根小学校実践区（九戸村）」 《家庭学習》

「山根小学校実践区」では、学校の「まなびフェスト」と教育振興運動を連携させ、家庭学習の習慣を身に付けさせるために、学校において漢字・計算大会という「目標」を設定して子どもたちの意欲化を図り、それを家庭が支援する体制を整えています。

詳しい紹介は、こちらまで。（紹介事例をダウンロードできます）

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_kunohe_sanne.pdf

事例の中には、地域の取組の記載はありませんが、地域が「すべての家庭で取り組むものだ」と啓発活動をおこなうだけで、先生や保護者にとっては大きな支えになります。学校や家庭の後方支援も、大きな役割です。

- 2 【家庭学習】 「学習の習慣化のために」

家庭学習で大切なことは、続けること。「継続は力なり」とはよく言ったものです。第3号では、子どもが家庭学習を続ける気にさせる親の接し方について書きました。ほめて、認めて、その気にさせるということです。

でも、その気になるだけでは「続ける」ことは難しいのです。学習は、必ず机の前に座り、一定時間、字を書いたり、本を読んだり、計算したりといったことを続けます。集中する力が必要になるのです。

その時に、姿勢がグラグラしたり、体に負担がかかると集中することもできず、学習をやり続けることができなくなってしまいます。一定時間、上半身を静かに支える練習をまわりの大人が日常生活の中でつけてあげてください。

授業中、読書中、食事中、そしてテレビを見る時も、横を向いたり、猫背になったり、まして寝転んだりせず、背筋を伸ばして常に姿勢を良くする習慣を身につけさせてあげてください。

また、鉛筆の持ち方が正しくないと、書く速度も遅く、字は汚く、すぐに指が痛くなってしまいます。シャープペンシルよりも鉛筆、しかも2Bくらいの柔らかい鉛筆の方が滑らかに書くことができます。

体が疲れたり、指が痛くなるとは、学習を続けることが嫌になってしまいます。ささいな日常生活の過ごし方、周りの大人（親や先生）の気配りや指導が、学習を習慣化させる土台になっているのです。

ここで、久々の一首。

1度という 小さな角度を あなどるな
線引き続ければ 雲泥の差

3 【読書推進】レッツ！読み聞かせ（その6） ～読み聞かせ方 4 「良くない持ち方・めくり方編」～

読み聞かせを聞く子どもの立場になって、次の例を読んでみてください。

<本のめくり方の悪い例>

- (1) 手で絵を隠してしまう。
無造作にめくると、手で絵を隠してしまったり、うっかりして2ページを一度にめくってしまうこともあります。そうすると、聞き手の注意が一気にそがれてしまいます。
- (2) 手にツバをつけてめくる。
- (3) ページの端を持たず、中央をクシャッとわしづかみにしてめくる。
- (4) 大きな音を立ててめくる。

<本のめくり方の悪い例>

(1) 後ろに傾けてしまう。

横から本をのぞきこんで読むのは結構読みにくいため、ついこんな読み方をしてしまいがちです。見る側からは絵がとても見にくく、また照明の反射で光って見えてしまいます。

(2) 閉じ気味にしてしまう。

これも上の例と同じく、字が読みにくいついやってしまいますが、横のいる子どもたちに絵が見えなくなってしまう。

(3) 左右に傾いてしまう。

これは読み手自身なかなか気づかないので、意識して真っ直ぐ持つようにしましょう。

本を支える腕を体につけて、まっすぐに伸ばすと傾きにくい。

(4) 本を持つ手で絵の下部分を隠してしまう。

いかがでしたか？ けっこう、「あるあるネタ」ですよ。(あるある！)
「これはダメです」と言われると、「難しそう」と思うかもしれませんが、すべては『子どもたちに見えるように、伝わるように』という心配り。絵が見えにくいと、子どもたちも聞いているのがイヤになってしまいます。

「出来ているかな？」と不安に感じたら、仲間と互いに読みあってみましょう。子どもたちから、絵本がどのように見えているかを教えてもらうのです。「誰に読んでいるの？」を、いつも意識していれば大丈夫ですよ！

今回は、～読み聞かせ方 5 「その他の気配り編」～です。

4 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) ねえ。教育振興運動を動かしているのは、誰なんだろう？

(教ちゃん) 「学校・家庭・地域・子ども・行政の5者の連携」って言うてるじゃない。そんなことも、わからないの？

(振ちゃん) だからさあ。それって、誰なの？

(教ちゃん) もう、みんなよ。み・ん・な！地域総がかりでって言うでしょ。

(振ちゃん) だから、みんなって誰なのさ。みんなって言葉は、便利だけど、よくわからないよ。みんなって言いながら、誰かがやると思ってるんじゃないかなあ・・・。

実際に誰かが人が引っ張らないとみんなは動かないし、みんなが気持ちをひとつにしないと、同じ方向には動かないよ。

(教ちゃん) そうね。振ちゃん、たまにはいい事いうわね。

子どもたちに直接働きかけるのは、学校や保護者・地域の方なのでしょうけど、牽引役として音頭をとり、具体的な手立てを伝え、同じ方向に向かわせるものとして、『広報』って大事よね。

(振ちゃん) たまには・・・は、ひどいなあ！

(教ちゃん) ウフフ、ごめんね。

それじゃあ、市町村の協議会や推進委員会が作っている『広報』を紹介するね。どちらも思いが伝わってきて、「やろう！」という気持ちにさせてくれるわ。

●釜石市教育振興運動協議会発行「教育振興運動だより」

⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/shoukai_kamaishi_kyoushin.pdf

http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/shoukai_kamaishi_rhythm.pdf

●川井村教育振興運動推進委員会発行「Let's 教振」

⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/syukai_kawai_kyoushin.pdf

(振ちゃん) 本当だ！他の協議会が作った『広報』も、もっと見てみたいな。

5 【みんなの声】ぺっこ言い隊

世田米地区実践区の実践区はいいですね。役割分担がしっかりしていて、特定の人だけが頑張っているのではなく、学校も「まなびフェスト」にしっかりと取り入れてやっているの、非常にいいと思いました。PDCAサイクルになっているので、長く続きそうです。

また、川尻小学校の「まなびフェスト」も、なかなか秀逸だと思いました。メルマガにある教育振興運動の連動（＝役割分担）は勿論、「知・徳・体」の育成について数値目標（賛否は別として）を掲げているので、バランスがいいですね。

「なわとび」のような運動だけ、勉強だけ、というまなびフェストも多いので、好例ではないでしょうか。

今回は評論家みたいなことを書いてしまいましたが、学校教育室の学校経営改革の取組も、いい事例を普及啓発させることがまだまだ必要らしいので、教育振興運動と連動しながら、保護者や地域の皆さんにも広がってほしいなと思いました。次回も期待しております。（H町 Cさん）

実践区や職員室でメルマガを回し読みみんなの感想、家庭学習や読書について日頃思っていること、皆さんの声を、こちらにどんどんお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

6 【編集後記】あつしのひとりごと

先日、ぼろぼろと涙を流しながら映画を見ました。「地球のステージ ありがとうの物語」という日本ユニセフ協会岩手県支部が自主上映した映画です。

日本で病院に勤務している医師が、世界各地の紛争地で医療活動に取り組み、その様子を日本各地で伝える活動をおこなっているドキュメンタリー映画で、

困難な中でも健気に一生懸命生きている子どもたちの姿に心打たれました。

10年前、「知る」だけで終わらず「行動し、アピールする」ことを中心に取り組んだ私の学級の文化祭展示。学級の子どもたちは、市内のユニセフの方から世界の現状について学び、地域に出てその現状を訴えながら募金活動をおこないました。(以来、私もユニセフの会員となっております。)

その後も、この中学校では総合的な学習の時間等を通じて、市内のユニセフとのつながりを通じ、今回の自主上映会にあたっては、ボランティア活動に取り組み委員会の委員長が招待されて、100人という来場者の前で自分たちの取組や感じていることを発表していました。(新聞記事にも載りました。)

子どもたちが、いろいろな人から学ぶ機会や活躍する場をつくってあげる、つなげてあげる、広げてあげる。それが、学校や地域、大人の役割じゃないかなと思います。文化祭学級展示や総合の時間は、本当に楽しかったな～。

⇒ 第7号は、10月27日(火)配信です。

★このメールへの感想、ご意見・ご要望は、こちらまで。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★教育振興運動に関する資料は、こちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

★子育てに迷ったら、ひとりで悩まず「子育ていわてケータイサイト」に。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kt-shien/>

～～～配信元～～～

* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士(さとう あつし)

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

⇒ 学校新聞の裏面に掲載しての各家庭への配布、回覧板を使つての自治会・子ども会への回覧も大歓迎です！

～～～